

第 17 回理事会

12月24日 午後4時55分～6時38分

木下会長、三浦・吉本副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・小田・田中（義）各常任理事、萬・田中（豊）・田村・河村・柴山・城甲・茶川各理事、青柳・山本・武内各監事

協議事項

1 定款等検討委員会提出議案について

(1)平成22年度山口県医師会費の賦課方法、(2)山口県医師会会費賦課徴収規程の一部改正の2議案について検討願うこととする。また、公益法人制度改革について経過報告を行う予定。

2 山口県看護協会との懇談会について

看護師養成対策等の対応についての懇談会を開催するにあたり、議題等の準備協議を行った。

3 潜在看護職員再就業支援研修モデル事業への参加について

日医から、標記モデル事業の実施意思の有無について調査があり、本県では実施意思有りとして回答することとした。実施主体：都道府県医師会（15都道府県）

4 平成21年度第3回都道府県医師会長協議会への提出議題について

提出議題（案）について示した。1月19日開催される。

人事事項

1 社保国保審査委員連絡委員の委嘱について

委員の退任に伴い、後任1名の委員を委嘱することについて諮り、承認された。

報告事項

1 小児救急医療電話相談業務協議会（12月3日）

増加傾向にある小児救急医療電話（#8000）相談件数の対策及び次年度の取り組みについて協議した。（弘山）

2 健康教育委員会（12月3日）

次年度の健康教育テキストのテーマ・執筆者について協議した。(城甲)

3 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

(12月4日)

全国医師会勤務医部会連絡協議会、勤務医の健康支援に関するプロジェクト委員会活動についてそれぞれ報告があり、引き続き「医療再生へ進むべき道」をテーマに協議・意見交換があった。神奈川県・福岡県、そして本会からも勤務医活動報告を行った。(城甲)

4 日本医師会医事法関係検討委員会(12月4日)

医療基本法の成立に向けたまとめ及び本委員会の答申準備を行った。(小田)

5 山口県医師会勤務医部会市民公開講座

(12月5日)

埼玉県済生会栗橋病院 本田 宏副院長の「真の維新の時、医療崩壊から再生への処方箋」と題した基調講演があり、つづいて同タイトルをテーマにシンポジウムを開催。行政、勤務医(小児科・外科)、看護、コメディカル、住民、子育て中の母親それぞれの立場のシンポジストから意見発表がされた。長門市・萩市医師会共催、200名の参加者があった。(小田)

6 山口県医師会産業医研修会・産業医部会総会

(12月5日)

「最近の労働安全衛生の動向について」(小田健一 山口労働局安全衛生課長)、「メンタルヘルスと自殺予防」(岡田宏基 岡山大学病院総合患者支援センター副センター長)の特別講演が行われた。出席者108名。(河村)

7 学校医研修会(12月6日)

「気をつけておきたい児童・生徒の眼科的疾患」と題して、中野朋子先生(なかの眼科クリニック院長)の講演があった。(濱本)

8 学校医部会総会(12月6日)

平成20年度事業報告及び21年度事業計画が承認された。「学校医の手びき」(第4版)の発行準備の進捗状況を報告した。(濱本)

9 予防接種医研修会(12月6日)

「予防接種をされるすべての先生方へ - パピローマ、肺炎球菌など最新の話

題も交えて - 」と題して、門屋 亮先生（山口赤十字病院）の講演があった。（濱本）

10 学校心臓検診精密検査医療機関研修会
（12月6日）

「『精密検診の指針』の意図するところ」と題して、砂川博史先生（山口健康福祉センター所長）の講演があった。（濱本）

11 平成21年度医療安全セミナー（12月6日）

広島国際会議場において開催。「Aiを土台にした新しい死因究明制度が医療安全問題を解決する」（講師：海堂 尊氏）等、3つの講演が行われた。
（小田）

12 日本医師会木下勝之常任理事 特別講演会・座談会（12月10日）

「民主党政権のもとでも、新しい死因究明制度の法制化を目指さねばならない」と題した講演、つづいて阿部広報委員の司会により座談会を開催した。（小田）

13 医療保険対策プロジェクトチーム（12月10日）

後発医薬品の使用促進における問題点等について協議及び本PTの答申準備を行った。（西村）

14 集団指導（12月10日・12月17日）

中国四国厚生局及び山口県の共同による保険診療集団指導と併せて、山口県医師会が実施する全医療機関を対象とした集団指導を開催した。出席者約1,400名（西村）

15 女性医師参画推進部会第3回理事会
（12月12日）

今年度開催した総会の総括、女性医師就労環境提案・育児支援・女子医学生支援各グループの活動報告を行った。女性医師復職支援についても報告があった。保育サポートバンク事業については、女性医師への広報方法、サポーター登録者増加対策について協議された。（田村）

16 第11回山口救急初療研究会（12月12日）

一般演題（医師部門、看護師部門、災害医療）の症例発表と特別講演があり、

医師、コメディカルが参加した。次回当番世話人は県医師会。(弘山)

17 日本医師会医療事故防止研修会(12月13日)

「アナフィラキシーショックへの対応」(講師:帝京大学ちば総合医療センター救急集中治療センター長)等、5つの講演及び「総合討論～医療事故削減戦略システムの実践に向けて～」が行われた。(城甲)

18 山口県介護保険研究大会(12月13日)

山口県総合保健会館「多目的ホール」等において開催。シンポジウム「介護保険制度創設10年目の今、私たちがめざすもの」及び研究発表等を実施。参加者473名。(河村)

19 山口県産業保健連絡協議会(12月17日)

勤労者への健康教育の取り組みなどについて意見交換した。(河村)

20 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(12月17日)

日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告、佐賀県・秋田県医師会からの医療事故紛争対策と活動状況の報告等が行われた。また、保険法改正に伴う日医医賠償保険制度への影響について説明が行われた。(小田)

21 献血推進及び薬物乱用防止ポスター・作文表彰式・発表会(12月17日)

献血推進関係のポスター・作文の入賞者に表彰状を手渡した。(木下)

22 山口県環境審議会(12月17日)

平成22年度水質測定計画(公共用水域及び地下水)の作成について諮問があり、つぎに、地域グリーンニューディール基金関連事業、レジ袋等容器包装廃棄物削減の取り組み状況について報告があった。(田村)

23 全国医師会共同利用施設臨時総会(12月20日)

日本医師会において、「時代に即応した医師会共同利用施設の地域展開」をメインテーマに開催された。

医師会病院関係、検査・健診センター関係及び介護保険関連施設関係について、それぞれ3施設等から現状報告等があった。(西村、茶川)

24 体験学習「皮膚科」(12月20日)

第49回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座が皮膚科学担当で開講された。「皮膚科領域における訴訟」、「薬疹」、「脱毛」について講義後、「顕

微鏡を用いた糸状菌や疥癬の検鏡」の実習が行われ、最後に修了証を授与され終了した。参加者は17名であった。(田中豊)

25 やまぐち臨床研修コンソーシアム企画会議
(12月20日)

平成21年度山口県マッチング状況報告、コンソーシアム企画について説明があった。また、臨床研修コンソーシアムを推進することを確認、参画者・実務者会議の設置・窓口担当者等について協議した。(小田)

26 藤井康宏先生旭日小綬章受章記念祝賀会
(12月20日)

栄誉を祝した。(木下)

27 中国四国医師会連合救急担当理事連絡協議会(12月23日)

岡山で開催。日本医師会救急災害対策委員会の報告が井戸俊夫岡山県医師会長からあった。消防法改正に伴うメディカルコントロール協議会のあり方や年末年始の救急医療体制など各県の対応について意見交換した。また懸案事項の中国四国医師会連合における災害時の連携体制について、本県より経過報告し、「中国・四国各県における災害時救急医療相互支援体制について」が一部修正のうえ、了承された。各県に持ち帰って、修正案を検討し、1月24日開催の中国四国医師会会長会議で協議することが決まった。(弘山)

互助会理事会 第7回

1 傷病見舞金支給申請について

1件について、協議、承認。